



あしかが自民党議員会  
す だ みず ほ  
**須田 瑞穂**



## いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を環境に配慮した大会に！

質問

栃木県は、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を環境に配慮した大会にするの方針を掲げ、市町をはじめ関係団体などに協力を呼び掛けているが、本市はどのような点で環境に配慮した大会運営を行っていくのか。

回答

再生ポリエステル素材を使用した足利市オリジナルポロシャツの作製やジョギングしながら地域のごみを拾うイベント「みんなでプロギング」の企画など、大会開催に向けた機運の醸成に加え環境に配慮した取り組みを行うことで、多くの方に環境問題への関心を持ってもらえるよう努めている。

ひと言

42年ぶりの開催を盛り上げるため、全庁を挙げた組織横断的な対応が必要です。



公明党議員会  
ひら つか しげる  
**平塚 茂**



## バリアフリーのまちづくりの推進を！

質問

魅力的なまちづくりにはバリアフリー化の推進が重要である。中橋の架け替えに伴う市街地整備において、歩道のバリアフリー化やエレベーターの設置など、車椅子の利用者をはじめ全ての人が自由に回遊できるまちづくりを推進すべきではないか。

回答

バリアフリー新法には、あらゆる人が利用しやすい生活環境をデザインするという理念に加え、心のバリアフリーの促進などが位置付けられている。中橋の架け替えに伴い、県や関係機関と連携を密にし、誰もが安全に安心して移動できるようバリアフリー化の実現に向け努力していく。

ひと言

全ての人に優しい足利にするため、バリアフリーのまちづくりを進める必要があります。



あしかが自民党議員会  
おぎ わら ひさ お  
**荻原 久雄**



## 「誰一人取り残されない」デジタル社会を！

質問

デジタル庁では、年齢や性別、経済的な状況等にかかわらず、誰もがデジタル化の恩恵を享受することにより、日常生活等のさまざまな課題を解決し、豊かさを真に実感できる「誰一人取り残されない」デジタル社会を目指すとされているが、所見を聞きたい。

回答

本市では第8次足利市総合計画におけるデジタル戦略の中で、「利用者中心の行政サービス改革」を基本方針に掲げ、利用者視点を第一に、デジタル技術の恩恵をあらゆる方が享受できるとともに、データがもたらす価値を最大限に引き出し、新たな価値が創出される社会の実現を目指していく。

ひと言

高齢者を含む全ての市民がデジタル化の恩恵を享受できる取り組みを期待します。



公明党議員会  
ふじ もと ひで き  
**藤本 秀樹**



## マイナンバーカードを活用した自治体DXを推進せよ！

質問

マイナンバーカードは、活用の機会が少なく、利便性を感じづらいことから、多くの方がカードの取得を先延ばしにしていると考える。同カードを市役所の窓口手続で活用できるようにし、利便性を高めることが普及拡大につながると考えるがどうか。

回答

国では、マイナンバーカードの普及拡大策として、健康保険証として利用可能としたほか、運転免許証として利用できるよう準備を進めている。本市としても「書かない窓口」、「待たせない窓口」の実現に併せ、市役所の窓口手続等において同カードを活用できる仕組みを構築していきたい。

ひと言

カードを活用した窓口手続の簡素化による普及拡大やサービス向上を期待します。